

パブリックコメントの結果について

「第四次佐世保市子ども読書プラン（案）」に関するご意見と回答

○実施期間：令和6年12月27日（金）～令和7年1月26日（日）

○受付人数・ご意見の数：27件（14人）

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
1	読書プランについて（全般）	<p>第2次・第3次の読書プランと、今回の第4次の読書プランを見比べたのですが、計画の体系イメージで言うところの「DXを活用した利便性の向上」という項目は追加されているものの、他の部分の文面に変化がみられませんでした。</p> <p>計画が進んでいれば、その進み具合によって逐次内容が変化するものと思うのですが、どうでしょうか？「学校図書館の整備・機能充実」は、第2次・第3次を経て、具体的に何が変わったのでしょうか？進んだのでしょうか、停滞したのでしょうか？詳細が知りたいです。</p> <p>第2次・第3次の進捗と反省と課題を踏まえた、プランの更新をしてほしく思います。</p>	<p>現在、第四次策定中の当プランにつきましては、第一次・第二次・第三次の各計画最終年度に、関係各課職員から成るワーキングメンバー会議・策定検討委員会議で計画期間中の進捗状況を振り返り、課題について協議し、次年度の目標や方向性の検討を行っております。また目標指標につきましては、毎年、進捗の管理も行ってまいります。</p> <p>この過程を経て、継続するもの、新たに追加するもの等、必要な修正を加えながら、5年毎に更新しております。</p> <p>ただ計画に記載する内容につきましては、その全てを細かく記載出来るものではない為、可能な範囲での記述とはなりますが、一般に広くわかり易いプランとなるよう、努めてまいります。</p> <p>「学校図書館の整備・機能充実」につきましては、P12～13に記載しておりますとおり、第2次から第3次にかけて、蔵書率の向上、司書の配置増など一定の進捗があり、書籍の計画的な整備や司書研修の充実等の課題を踏まえ、第4次でも読書活動の推進に取り組んでまいります。</p>
2	【計画本文の頁】P13（2）-④「学校司書の効果的配置」について	<p>1行目「第二次計画が始まった・・・令和元年度に23名となり」という部分は、第二次計画の振り返りのみであり、第四次計画（以下本計画）策定に必要な第三次計画期間（令和2年度～令和6年度）の検証内容が含まれていません。</p> <p>第三次計画（以下前計画）期間で学校司書の効果的配置に関して変化や進展があったかどうかの、振り返りの文章が必要なのではないでしょうか。</p>	<p>第三次計画期間での学校司書の配置につきましては、具体例についても示すことができるよう、記載内容を検討しました。</p> <p>変更後については、別紙「反映新旧表」をご確認ください。</p>
3	【計画本文の頁】P21 3 学校における読書活動の推進について	<p>学齢が上がるにつれて家読は難しくなるので、せめて学校での読書の時間の有効活用が必要だと思います。そのため、司書さんの力で本の魅力を伝えることが必要だと思います。</p>	<p>各学校における読書推進活動には、学校司書の果たす役割は大きいと考えております。今後も、学校司書研修会等において、学校司書の資質向上を図ってまいります。</p>
4	【体系イメージ項目】子どもと本をつなぐ（5）「学習指導要領を踏まえた読書活動の推進」について 【計画本文の頁】P21【推進プラン】（1）の同項目	<p>学校司書として勤務していて感じるのですが、まず大人側の読書への関心の低さが目につきます。</p> <p>学校司書の側で資料を買い揃えていても、教員が授業中に資料を利用しないのであれば、指導要領にそった読書に寄与できません。</p> <p>学校司書や司書教諭は年度末に報告する必要があるため授業連携の回数や内容に気をかけていますが、図書担当でない教員にとっては報告する義務がないため連携に乗り気でないことが多くあります。</p> <p>調べ学習の様子を見ていても、まず教員が児童・生徒に図書室を利用させていません。教職員が資料を事前に借りる・読むことを避け、その手軽さからタブレットによるインターネット検索で授業を完結させています。またそのインターネットの検索法も、とくに専門的な指導をしているとは思えず、ただ検索窓に文字を打ち込ませているのみです。</p> <p>読書をしない・図書室の資料活用に関心を持たない教員が多い現場で、どうして「学習指導要領を踏まえた読書活動」が推進されているといえるのでしょうか？もっと学校全体で、先ず教員をはじめとした大人側に、「読書活動」をさせなければいけないのではないのでしょうか。もっと学校の職員全員の耳に届くような形で、「学習指導要領を踏まえた読書活動の推進」を行うよう、呼びかけてほしく思います。（この呼びかけは学校司書という、いち非正規スタッフの職能を越えています。）</p>	<p>学習指導要領には、小学校1・2年生は楽しんで、3・4年生は幅広く、5・6年生及び中学1年生は進んで読書をすることを目標としており、中学2年生は読書を生活に役立てること、中学3年生は読書を通じて自己を向上させることに重点を置いております。</p> <p>学習指導要領の目標を踏まえ、児童生徒の学習指導の充実を図ることが出来るよう、研修会等を通じて指導してまいります。</p>

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
5	【計画本文の頁】 P21【推進プラン】(1)-① 「学校図書館を活用した学習活動を計画的に実施」について	特に国語の学習活動が学校図書館と関連性が高いことは、教科書会社のホームページ内に「学校図書館活用年間指導計画」が公開されていることからわかります。計画的な活用のためには、教科書そのものを見て準備する必要があるため、すべての学校図書館に全学年の国語の教科書が設置されることを希望します。	教科書については、まずは担任や教科指導者に配備を行っているところです。教科書の学校図書館への配備については、今後検討としてまいります。
6	【計画本文の頁】 P21【推進プラン】(3)-① 「資料の計画的整備」について	「学習に活用できる資料の“更新”・充実を図り、・・・」の部分は、前計画になかった「更新」という言葉があるところが、非常に素晴らしいと感じました。この更新を行うための具体的な取組に期待しています。	情報は日々更新されていきますので、資料の更新は重要であると考えております。資料の更新については、国の指針等をもとに本市の実態を踏まえたうえで、今後本市独自の基準の設定を検討してまいります。
7	【体系イメージ項目】 環境整備 (3)「学校図書館の整備・充実」について 【計画本文の頁】 P21【推進プラン】 (3)の同項目	学校司書として勤務していて、学校の建て替えおよび新図書館の配置の話題を聞くことがあります。 学校司書の研修でも新図書室について意見を述べる内容のものがありました。すでに出来上がった新図書室は司書視点では非常に使いにくく、正直に言って、その学校図書館の内装は意見を述べる以前の出来でありました。 そもそも建て替え時に、図書室の配置や内装について、学校図書館で働いている司書の意見を聞く、といった場面に遭遇したことはありません。実に奇妙なことです。 学校司書として勤務していて身に染みて感じるのですが、図書室から物理的距離のあるクラスの児童・生徒は、そのアクセスの悪さから利用が減ります。学校の隅に図書室を配置した場合、多くのクラスが図書室から遠くなるため、図書室および読書への関心が薄れます。図書室の配置はそれだけ児童・生徒の読書への関心に重大な影響を及ぼします。在籍するクラスによって、読書へのアクセス難易度が違い、しかもそれが進級・進学によって毎年変化するような状況で、安定した読書環境が提供できているといえるでしょうか？ 本心から「学校図書館の充実」を計るのであれば、学校の改築時に、図書室の配置や内装に気を配るべきであり、普段から専門的に業務にあたっている学校司書に、配置や内装について詳細な情報を提供させるべきと考えますが、いかがでしょうか。学校司書の中には、休日を使って各地の公共図書館を見て回って、その内装や配置の良し悪しについて知識を蓄えている方もおられます。(自分もそうです)もっと身近にいる専門職に、改築計画の最初期から、ハード面から、関わる機会を持たせていただきたいです。 そして、学校図書館の備品・機材についても充実を求めます。 小学校の国語の教科書に、図書室の備品・機材についての記述があります。せめて紹介されている機材くらいは、図書室に常備されていてほしいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 小・中学校校舎の改築を行う際には、文部科学省が示す学校施設の計画や設計におけるガイドラインとなる「学校施設整備指針」に基づき、学校規模や校舎配置、敷地形状など、各学校の実情を踏まえながら整備を進めています。 また、レイアウト等の検討を進める際は、学校側としての意見や要望を出していただいた上で、協議を重ねながら教室配置や内装等を決定しています。 今後も校舎等の改築を行う際には、引き続き学校現場の意見や要望を伺いながら、より良い学校施設の整備に取り組んでまいります。
8	【体系イメージ項目】 環境整備 (3)学校図書館の整備・充実 【計画本文の頁】 P21【推進プラン】 (3)の同項目	今後建て替え検討中の学校は、学校図書館を1階の児童生徒玄関口そばに配置するようお願いいたします。 祇園中学校が、「佐世保モデル」となると思います。 新築された清水中学校のように3階に位置すると、将来的な「地域開放」などの取り組みができません。 毎日児童生徒が登校時と下校時の最低2回は必ず目に留まる場所にあれば、学校図書館が身近に感じられます。 建設したら50年は使う校舎です。学校図書館の「基本のキ」である場所への配置を切望します。	貴重なご意見ありがとうございます。 小・中学校校舎の改築を行う際には、文部科学省が示す学校施設の計画や設計におけるガイドラインとなる「学校施設整備指針」に基づき、学校規模や校舎配置、敷地状況など、各学校の実情を踏まえながら整備を進めています。 教室等のレイアウトを考える上では、敷地形状や校舎配置、車両動線などが学校毎に大きく異なる状況にあることから、学校現場と教室レイアウトを協議していく過程で、保健室や給食関係・相談室など、学校運営上の優先度が高い教室から1階への配置を求められている実情があります。 今後も校舎等の改築を行う際には、引き続き学校現場の意見や要望を伺いながら、より良い学校施設の整備に取り組んでまいります。 (No.7と同様)

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
9	<p>【体系イメージ項目】 人材育成 (4) 学校図書館に関わる職員等の研修会の開催</p> <p>【計画本文の頁】 P22【推進プラン】 (4) の同項目</p>	<p>学校司書研修会の計画的開催は、すでに県内他市と比べ内容、開催回数共に大変充実しています。現在23名の学校司書が2～3校、多い場合は5校兼務しているのを、せめて1人2校までにして戴きたいです。</p> <p>また、現在1名の学校司書専任指導員が2校兼務で指導員の仕事もしています。他の学校司書にプラスした仕事をしているので、待遇をよくするべきだと考えます。</p>	<p>他市町の学校司書の勤務や配置の状況につきましては、1日に3時間や4時間の勤務で複数校を担当し、中には1人で5校を担当させるという市町もございます。</p> <p>本市においては、1人の学校司書が2校から4校を担当している状況でございますが、1日あたりの配置時間につきましては7時間と充実しております。</p> <p>その結果、学校図書館における1人あたりの貸出冊数は、令和5年度は、平成17年度に比べると、小学校は約4.3倍、中学校は約2.2倍と、学校司書配置以来、増加傾向が続いており、十分な効果を上げていると評価しております。</p> <p>学校司書の増員につきましては、本市でも一定充実している状況も踏まえ、今後、他市町の動向を注視しながら、本市における学校司書の人数、勤務時間、担当学校数等も含め、より効果的な配置について研究を続けてまいります。</p> <p>学校司書専任指導員の待遇については、勤務校を減らすなど一定の配慮をしているところで、後継者の育成の必要性からも、学校司書専任指導員のあり方については、研究を続けてまいります。</p>
10	<p>【体系イメージ項目】 DXを活用した利便性の向上 (1) 「一人一台端末を活用した読書活動の推進」について</p> <p>【計画本文の頁】 P22【推進プラン】 (5) の同項目</p>	<p>(今回のパブリックコメントは、主に子どもの読書プランに関するものなので内容からズレますが、地域との連携の一環として一考していただきたいことがあります。)</p> <p>まず、学校司書に一人一台端末およびアカウントが支給されておられません。早急の改善を望みます。</p> <p>また画工図書館における電子書籍の導入について、佐世保市はどのような想定なのでしょう？購入先は？資料の公開方法は？図書室での検索・保管・閲覧については？どのように考えているのでしょうか。</p> <p>電子書籍の導入手順と活用の方針についても、読書プランに盛り込んでほしいと思います。</p>	<p>学校司書の端末につきましては、複数校を兼務する関係上、配当はしておりませんが、学校図書管理端末を活用できる環境を整えるとともに、Googleアカウントを付与しております。ご不便をおかけするところもあると思いますが、ご理解をお願いいたします。</p> <p>電子書籍の導入につきましては、児童生徒の発達段階や費用対効果等について、検討をする必要があると考えております。他市町の動向等も踏まえながら、研究を進めてまいります。</p>
11	<p>【体系イメージ項目】 DXを活用した利便性の向上 (1) 一人一台端末を活用した読書活動の推進</p> <p>【計画本文の頁】 P22【推進プラン】 (5) の同項目</p>	<p>学校司書には、タブレットも教師用アカウントも配布されておらず、オンライン上の学校図書館の部屋を作ることができません。新刊案内や、図書館行事等オンラインで連絡できることはたくさんあります。この点は長崎市が進んでいます。</p> <p>また(株)カーリルの学校図書館支援プログラムを使って、各学校図書館の蔵書検索がオンライン上でできるようにしている学校が市内に数校しかなく、これは市教委が推進すべきだと思います。無料でできて、児童生徒は自宅からでも教室からでも、学校図書館の蔵書が検索できます。京都市は小中学校すべて、市教委が率先してこのプログラムを使っています。</p> <p>学校図書館に関しては、ここ10数年、学校司書配置から随分と進化を遂げていると思います。</p> <p>佐世保市の子どもの読書環境にこれまで以上に力を入れて戴き、読書に親しみ、自ら疑問点を検索し、適切な資料にたどりつける市民を育てて欲しいと思います。</p>	<p>学校司書は新刊図書や読書イベントの周知など、学校における読書推進活動の一翼を担っています。学校司書が使用する端末については、複数校を兼務するため、一人一台端末の配当はしておりません。</p> <p>そのかわり、Googleアカウントを配付し、それぞれの学校の図書館端末を使って資料の作成やデータのやり取り等ができる仕組みを整えております。(No.10と同様)</p> <p>また、カーリルについては、現在一部の学校で使用している状況です。</p> <p>活用している学校の実践を共有する機会等を設定するなど、端末を活用した情報活用能力の向上を図る取組について周知してまいります。</p>
12	<p>【体系イメージ項目】 環境整備 (1) 「コミュニティセンター図書室の環境整備」について</p> <p>【計画本文の頁】 P19【推進プラン】 (2) -②の同項目</p>	<p>(以下、体系イメージで扱われている項目について意見します。)</p> <p>コミュニティセンターの図書室としての機能の充実を図るのであれば、ここにも司書を配置するべきと思うのですが、いかがでしょうか。コミュニティセンター経由の返却について職員に尋ねたことが数回ありますが、返却業務に慣れている様子は見受けられませんでした。</p> <p>また、佐世保市で雇用した司書を配置し、コミュニティセンター・学校図書館・公共図書館の司書が情報共有できていれば、各図書館の連携が充実し、地域全体で読書へのアプローチのし易さがサポートできるかと思えます。</p> <p>たとえば岡山市のような図書館間の密接なサービスネットワークの構築を志向しているのであれば、各拠点に専門の職員を配置した方がよく、この配置事業一つだけでも「環境整備」に寄与すると思えます。</p>	<p>コミュニティセンター図書室につきましては、地域住民にとって、最も身近な読書に触れられる場として、ニーズも高いと認識しております。一方で各センターは、コミュニティ活性化の地域拠点として大きな役割を担っておりますので、図書室については本館の補助的な位置づけとなります。</p> <p>しかしながら可能な範囲で環境整備に取り組んでおり、蔵書の不足面につきましては、本館の予約・受取・返却を全センター(まちなか除く)で対応することで補充に努めております。</p> <p>また、4地区の図書室につきましては他より蔵書も多く、図書館の分館的な機能を有しており、専任の職員(必須条件ではないものの、一部司書資格保有者を任用)を配置し、本館とのデータ連携を行い、レファレンス機能を有したものとなっております。</p> <p>司書の配置を含む図書室機能の充実につきましては、人材及び予算の確保等課題が大きい為、関係課(社会教育課、コミュニティ・協働推進課及び図書館)と協議してまいりたいと思えます。</p>

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
13	<p>【体系イメージ項目】 環境整備(1)コミュニティセンター図書室の環境整備</p> <p>【計画本文の頁】 P19【推進プラン】(2)-②同項目</p>	<p>コミュニティセンターの図書室の蔵書が少ないように思います。子ども用の図書も修理しながら貸出されているようで、もう少し新刊を増やして欲しい。(大人用も) また、コミュニティセンターの職員の方は、本業で忙しそうなので、本当の意味での充実を図るのであれば、司書の方の配置を考えられた方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>予算の範囲内とはなりますが、市立図書館資料収集方針(収集方針)を基本としつつ、地域の皆様のニーズを踏まえてコミュニティセンターを利用される子どもからご年配まで様々な年代の方を意識した選書に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>なお、全コミュニティセンター(まちなか除く)において実施している、市立図書館蔵書の予約・受取・返却サービスもぜひご利用いただければと思います。</p> <p>司書の配置につきましては、人材及び予算の確保等課題が大きい為、関係課(社会教育課、コミュニティ・協働推進課及び図書館)と協議してまいりたいと思います。(No.12と同様)</p>
14	<p>読書プランについて(全般)</p> <p>【計画本文の頁】 P19【推進プラン】(2)-②コミュニティセンター図書室の環境整備</p>	<p>計画は大変素晴らしいと思います。しかし、これだけ盛りだくさんのことを計画・実行されていることは、一般の人は知らないと思います。もう少し広報等を通じ、より具体的に宣伝して欲しい。</p> <p>一個人としては、1冊心に響く本に出会うことで本を読む習慣がつかうのではないかと思うので、この取り掛かりを援助したら良いのでは・・・。(ビデオ・本の紹介・読み聞かせ・・・等。)</p> <p>図書館・コミュニティセンターの図書の充実!市の図書館に行かなくても身近な地区の図書を利用して満足が得られる配慮! 偏らない本の紹介!</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>電子図書館の導入(令和3年10月～)や、全コミュニティセンター(まちなか除く)で本の取り寄せ・返却受付開始(令和5年4月～)など、皆様には有益な情報等を広く周知する為、広報の強化を図ってまいります。</p> <p>図書館やコミュニティセンターでの広報誌による本の紹介や読み聞かせの実施なども継続し、地域の皆様の読書活動の推進を進めるとともに、幼稚園・保育所等の職員に対しても読書プランを周知し、保育場面における絵本や紙芝居の活用などを図ってまいります。</p> <p>また、選書にあたっては収集方針を基本としつつ、分野の均衡にも留意して地域のニーズに合うよう、図書館及びコミュニティセンター図書室の蔵書の充実にも努めるとともに、相互の連携により、幅広く本が利用できるよう協力し、利便性の向上に努めてまいります。(No.13と同様)</p>
15	<p>【計画本文の頁】 P9(2)各地区コミュニティセンターでの読書の推進について</p> <p>P18～19【推進プラン】(2)-①コミュニティセンター講座の充実 (2)-②コミュニティセンター図書室の環境整備</p>	<p>毎月1回の読み聞かせ”おはなしひろば”をとでも楽しみにしている小5、小3の母です。</p> <p>吉井地区コミュニティセンターの図書室は季節ごとに本の特集や飾りつけをされており、子ども達が興味を持ってスーッと入室できる空間です。しかし、小さい頃から毎日のようにこちらの本を読んでいる為、物足りなさを感じる事もあります。</p> <p>市立図書館までなかなか足を運べない為、図鑑や専門性のある本はネット予約やコミュニティセンターに取り寄せて頂いたこともあります。</p> <p>中2の兄も本が好きで、ここで待ち合わせをするとつい読みふけています。</p> <p>ヤングアダルト向けの図書の充実も希望しています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後も読み聞かせの内容や図書室内の展示には趣向をこらしながら、地域の皆様の読書環境の向上に取り組んでまいります。</p> <p>収集方針を基本としつつ、分野の均衡に留意して蔵書の充実にも努めるとともに、市立図書館と連携して、幅広く本が利用できるよう現行の協力体制(貸出・受取)を継続し、地域の皆様の利便性の向上を図ってまいります。(No.13と同様)</p>
16	<p>【体系イメージ項目】 「連携等」について</p> <p>【計画本文の頁】 P19【推進プラン】(4)関係課連携による推進 P20【推進プラン】(5)関係機関との連携</p>	<p>社会教育の拠点であるコミュニティセンターと各地域に点在する幼稚園・保育園との連携について記載がなく非常に残念。</p> <p>コミュニティセンター図書室の選書について一定の統一された基準が定められていると思うが、例えば幼稚園・保育園児等を対象とした選書を強化することで図書貸出等の連携可能性があるように感じる。</p>	<p>体系イメージ図に具体的な記載はございませんが、一部のコミュニティセンターでは、移動図書館の巡回先には各地域の幼稚園・保育園のニーズも取り入れて訪問したり、一部の乳幼児教育・保育施設では、散歩の際に子ども達と一緒に近くのコミュニティセンター図書室を利用、または保育者がコミュニティセンター図書室へ出向き、絵本を借りて保育の中で子ども達に読み聞かせを行うなど、絵本に触れる機会を設けている施設もございますので、今後も各地域の実情に応じた連携の推進に取り組んでまいります。</p> <p>選書につきましては、収集方針を基本としつつ、各地区の地域性や利用者の年齢層・貸出し傾向、リクエストや新刊情報などを考慮して、予算の範囲内で選書・購入しております。</p> <p>全体の均衡と予算を踏まえた範囲での選書となりますので、全コミュニティセンター(まちなか除く)で行っている市立図書館蔵書の貸出・返却サービスの活用も推進しつつ、コミュニティセンター図書室の利用も積極的に周知して、今後関係機関とコミュニティセンターの連携が進むよう、取り組んでまいります。(No.13と同様)</p>

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
17	【計画本文の頁】 P24 (4) 多様性に 応じた支援 について	市内で英語教室を開いているものです。 図書館に、英語やその他の外国語の本、洋書、を置いて頂きたいと思ひます。 外国語の本(本というメディア)を通して、子供たちに外国の言語文化を学ぶ機会を増やしたいと思ひます。それらを知ることにより、多様性を受け入れられる態度を育てることが出来ると思ひます。 さらに外国語で書かれた絵本、小説、雑誌など、多読を経験できるような洋書を置いて頂きたいと思ひます。 外国語はもちろん、その背景にある文化に慣れ親しむ態度の育成に役立つと思ひます。 以上、よろしくお願ひいたします。 (私は、宇久島在住で、市立図書館本館に伺ったことがないため、あくまでも宇久地区コミュニティセンターの図書館についての意見となります。)	選書につきましては、収集方針を基本としつつ、各地区の地域性や利用者の年齢層・貸出し傾向、リクエストや新刊情報などを考慮して、予算の範囲内で選書・購入しております。 全体の均衡と予算を踏まえた範囲での選書とはなりますので、全コミュニティセンター(まちなか除く)で行っている市立図書館蔵書の貸出・返却サービスをぜひご利用ください。 (No.13と同様)
18	【計画本文の頁】 P18 1 家庭・地域における読書活動の推進について P24 (4) 多様性に 応じた支援 について	英語の多読のための蔵書の充実(国内で比類のない程)もプランのひとつに加えていただければと思ひます。 英語の書籍は一般的に高価で、かつ豊富な種類を入手するのが困難なため、公共の場でアクセス可能にいただければ、学校教育の場にとどまらず、家庭、民間の英語教育機関などでも幅広く活用できると思ひます。 「多読」とは軸となる日本多読学会という団体もある体系的、継続的な読書活動です。 学会活動が行われているため先行事例、指導プログラムも入手可能で漫然とした蔵書の拡充より効果が期待できると思ひます。 語学学習には読む、聞く、書く、話すの4技能の習得が必要となりますが、佐世保市の目指す「させば暮らし=英語が身に着く」の施策のひとつとして「読む」を本読書プランでご支援いただければと思ひます。	市立図書館では、収集方針を基本としつつ、市民の方からのリクエストや社会的動向などに配慮して、学習、文化、教養、調査研究等に資する資料を計画的に幅広く収集するよう努めております。 ご指摘の英語の書籍につきましても、全体の均衡と予算を踏まえた範囲での選書とはなりますが、充実するよう努めてまいります。 また、各地区コミュニティセンターも同様の方針となりますので、本館に出向けない方は全コミュニティセンター(まちなか除く)で行っている市立図書館蔵書の貸出・返却サービスもぜひご利用ください。
19	読み聞かせ・図書ボランティアの立場から 【計画本文の頁】 P18~ 1 家庭・地域における読書活動の推進	「読み聞かせ」ボランティアを始めて18年目を迎えようとしています。 当初、PTAの役員さんからお誘いされ参加して参りましたが、その方が転居されボランティア不足となり高齢者の知人を頼りに今日に至っています。 保護者の方の参加が得られないまま、現在4名で週一回、朝の始業前に15分程実施していますが、読み手不足のため低学年と高学年に隔週となり、毎週全学年に入れないのが残念なところです。 今までに面識のある保護者の方に声かけしてきましたが、なかなか実現できず高齢化してきている現状では存続の不安を感じております。 そこで提案として、PTAの保護者活動の具体案として図書・読み聞かせ担当(部・係)を位置づけしていただき、児童の身近な方々の参加で読書習慣への関心がより深まるのでは!!・・・と思ひます。	ご指摘のとおり、図書ボランティアの人員確保が非常に難しくなっている現状がございます。 協力者の高齢化・後継者不足などの課題があり、新しい担い手をどこに求めるのか、見出ししていくのか検討していく必要がありますので、ご提案にあります担当部署の位置づけまで難しいものの、PTAの役員や会員の集まり等で図書ボランティアの活動紹介を行い読書の大切さを再周知しつつ、一緒に活動して頂ける人を発掘していくような方策も探ってまいりたいと思ひます。
20	【計画本文の頁】 P21 3 学校における読書活動の推進 【推進プラン】 (2) 「読書習慣の形成、読書の機会の確保」について	本計画の「めざす子ども像」(P3)が「・・・自分の考えや思いを表現することができる子」と変更になっていることに関連した項目が不足していると感じます。 子どもが自分の考えや思いを表現するために必要な取組について、具体的に明文化していただきたいと思います。(文中のピリオドバトルについては表現することにつながるとは思ひますが、前計画にすでに盛り込まれていました)	めざす子ども像に設定している「…自分の考えを表現することができる子」につきましては、学習指導要領で目指す資質・能力の一つとして設定されているものでもあります。 表現力の育成を図るためのピリオドバトル以外の具体的な取組みについても示せるよう、検討してまいります。

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
21	<p>【体系イメージ項目】 イメージ図内のDX活用の表現について</p> <p>【計画本文の頁】 P24 4 市立図書館における読書活動の推進【推進プラン】 【(6)「DXを活用した利便性の向上」】</p>	<p>表現として「DXを活用した・・・」という部分に違和感があります。「DX」は、「デジタル技術を活用して、業務プロセスやビジネスモデルを根本から変革すること」なので、文章としては、「DX推進による利便性の向上」や「デジタル技術を活用した利便性の向上」、「ICTを活用した利便性の向上」などとした方が良くはないでしょうか？</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。 確かに「DX」は概念であり、より適切な表現として「DX推進による利便性の向上」との表現に修正しました。 変更箇所については、別紙「反映新旧表」をご確認ください。</p>
22	<p>「書店との関係」について (該当項目なし)</p>	<p>資料の購入先の書店スタッフと会話する機会があるのですが、どこの書店も存続が危うい様子があります。学校図書館と取引のある書店のうち、小売店を有している書店は、今とどれだけ在るでしょうか？ 公共・学校・コミュニティセンターの図書館は、佐世保市内の書店から資料を購入しています。その書店が潰れてしまえば、資料の購入先を失い、推進どころか読書そのものがままなりません。 どうか書店の存続が可能となるような図書館との関係構築、市民の(とくに佐世保由来の)書店へのアクセス補助をご一考ください。TRCやTSUTAYA等の全国規模の書店に公費を使っても、佐世保市の書店は存続できません。 他方、資料の購入や受入・装備や納品手順についても、図書館と書店の間で混乱が見られます。 図書館と書店で定期的に業務上の意見交換を行う場を用意していただきたいです。 特に学校図書館では司書と書店の間で了解があっても、別に事務室の了解も必要であったり、その事務室の見解も学校毎に違うなどして、業務に支障が生じています。 以前は学校にも書店にも余裕があったから、お互いさまで済んでいたことでも、現在は双方に余裕がなく、どちらかに重い負担がかかるような状態となっています。重大な拗れ・物別れが発生する前に、各図書館と書店の契約上・業務上の理解をすすめる方策を採っていただきたいです。</p>	<p>書店の存続について、直接言及できる立場にはございませんが、図書の購入にあたっては、市登録業者（市内優先）での対応を原則としております。 書店との意見交換につきましては、日本図書館協会にて書店・図書館等の連携による読書活動の推進について取りまとめられ、文部科学省においても連携実践事例等を公表されておりますので、連携内容の精査を行ってまいります。</p>
23	<p>読書プランについて (全般)</p>	<p>前計画期間中にコロナ禍を経験した子どもたちの周りでは、様々な変化が起きています。 社会における変化に対応した読書プランが推進され、すべての子どもたちが読書を通して健やかに生きる力を身につけることができるようになることを期待しています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 前期の振り返りを踏まえ、今後の進捗管理も行いながら、本に親しみ、学び得た知識を活かして自由に表現できる子どもたちの育成を目指して読書プランを推進してまいります。</p>
24	<p>読書プランについて (全般)</p>	<p>街からどんどん書店が消えています。紙の本に親しんできた世代の私たちは視力の関係でも、電子書籍には親しめない。 街の図書館は、本当にありがたいです。 読書によって広い世界・新しい知識に出会う楽しさもさながら、新刊図書で新人作家さんに会えることが出来ます。自分では買えない、または選べないような様々な内容と作家さん達との出会いにわくわくしています。感謝でいっぱいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 紙の本には、読み聞かせなどで親子の触れ合いが深まったり、ものを大切に扱うというような社会規範が自然に身に付くなど、実際に本に触れることで得られる利点が数多くございます。 今後もこの利点・良さを引き継いでいく事は重要であるという認識のもと、電子書籍の利点も必要に応じて取り入れつつ、読書活動が広く市民の方に浸透していくよう、取り組んでまいります。</p>
25	<p>【計画本文の頁】 P18 (1)-①ブックスタート事業の実施について</p>	<p>ブックスタートはとても良い取り組みだと思います。私の子どもたちは佐世保市外で頂きました。 もう20年前ですが、今、とてもなつかしく読み返しています。そこから家読へとつながることもあります。 大事にして欲しいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ブックスタートについては平成14年から開始し、本年度で23年になります。 今後も本と子どもをつなぐ事業として継続していきたいと考えております。</p>

No	ご意見の箇所	ご意見の内容	回 答
26	【計画本文の頁】 P9～ (2)各地区コミュニティセンターでの読書の推進について	<p>吉井地区コミュニティセンター（図書室）を利用させてもらってます。</p> <p>小2、年長、0歳の娘がいますが、小2の娘がわりと読書が好きなので学校でも図書室でもよく本を借りていて、親ながらに感心しているところです。市内まで行って駐車料金を気にして読書することなく身近なところでゆっくりと本に触れる環境があるのはとてもありがたいです。</p> <p>こういった機会の影響で自ら「こういった本が欲しいから買いたい」とお小遣いを握りしめ本屋さんに行くことも増えました。</p> <p>又、職員の方が読み聞かせやイベント等の機会も考えてくださって、参加するの子どもたちのたのしみの1つです！！</p> <p>予算等、いろいろと制約が今後出てくるんでしょうが、子どもが好きな場所の1つ図書室がいつまでも側にいてくれるのを願っています。よろしくお願いします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後も読み聞かせや各種イベントの内容に趣向をこらしながら、地域の皆様の読書環境の向上に取り組んでまいります。</p> <p>また、蔵書の充実にも努めるとともに、市立図書館と連携して、幅広く本が利用できるよう現行の協力体制（貸出・受取）を継続し、利便性の向上も図ってまいります。</p>
27	【計画本文の頁】 P27～ 第4章 重点施策について	<p>時々の利用にはなりますが、図書館へ来ると喜んで本を読みますし、貸りて帰りたいと必ず言います。</p> <p>資料にもありましたが、読書が好きという人は年々減っているように思います。今はメディアの方に傾いており、本がなくても大丈夫になっているからだと思います。</p> <p>しかし、本や紙芝居等は子ども達も喜んで見ます。</p> <p>図書館という施設は大人にも子どもにも息抜き場として必要だと思います。</p> <p>本は脳の活性化にもいいと思うので、今後も利用させて頂きたいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>図書館では絵本を通じ親子のコミュニケーションを図る取り組みとして読み聞かせイベントを毎週開催しております。</p> <p>各地区コミュニティセンターでも紙芝居や影絵・絵本を使ったイベントなどを実施して地域の皆様の読書環境の充実に取り組んでおります。</p> <p>ご指摘のとおり、読書離れは進んでおりますが、各種イベントを通じ広く市民の皆様に読書の重要性等をご理解いただけるよう、周知等を行ってまいります。</p>